

帯広市地域公共交通網形成計画(原案) 主な修正内容

帯広市議会産業経済委員会の政策提言、国土交通省との協議調整、関係団体との意見交換を踏まえ、文言の追記等を行ったもの。

旧	新
<p>【P4 1-5 計画の期間】 平成29年度から平成31年度までの3年間とする。</p>	<p>【P3 1-5 計画の期間】 平成29年度から平成33年度までの5年間とする。</p>
<p>【P61 ① 定時性の確保に向けた検討】 バスの遅延に対する利用者の不安・不満を解消するため、バスの到着情報を提供するバスロケーションシステムの導入を推進するほか、降雪状況に応じた円滑な除排雪の実施やバス専用レーン導入及び、未整備の都市計画道路の整備といった道路環境の向上など、定時性の確保に向けた対応策の検討を行う。</p>	<p>【P60 ① 定時性等の確保に向けた検討】 バスの遅延に対する利用者の不安・不満を解消するため、バスの到着情報を提供するバスロケーションシステムの普及を推進するほか、<u>安全運行の確保を図り</u>、降雪状況に応じた円滑な除排雪の実施やバス専用レーン導入及び、未整備の都市計画道路の整備といった道路環境の向上など、定時性の確保に向けた対応策の検討を行う。</p>
<p>【P63 ① ICカードシステム導入の検討】 また、ICカードの導入は、通学において事業者を跨いで乗継をする場合の共通通学定期券や乗継割引の導入など弾力的な運賃制度の導入が可能となることから、他地域の導入事例を参考にし、また事業者の導入コストの大きさを考慮に入れながら導入の検討を進める。</p>	<p>【P62 ① ICカードシステム導入の検討】 また、ICカードの導入は、通学において事業者を跨いで乗継をする場合の共通通学定期券や乗継割引の導入など弾力的な運賃制度の導入が可能となるほか、<u>収集データによる利用実態の把握など、効率的な運行に向けて幅広い活用が期待</u>できることから、他地域の導入事例を参考にし、また事業者の導入コストの大きさを考慮に入れながら導入の検討を進める。</p>
<p>【P64 ② デマンド型交通の利便性向上】 郊外部だけでなく、市街地においても路線運行が非効率であると考えられる地区については、デマンド型交通の導入を検討する。</p>	<p>【P63 ② デマンド型交通の利便性向上】 郊外部だけでなく、市街地においても路線運行が非効率であると考えられる地区については、<u>バス事業者や地域住民等と連携して地域ニーズを把握しながら</u>、デマンド型交通の導入を検討する。</p>
<p>【P66 ① バスロケーションシステム等の普及】 バス事業者で導入を進めているバスロケーションシステムについて、利用者ニーズの把握、改善案の検討等を通じ、全市的な導入に向けた取り組みを推進する。</p>	<p>【P65 ① バスロケーションシステム等の普及】 バスの位置情報を提供するバスロケーションシステムや<u>乗り換え案内アプリ</u>について、利用者への普及に向けた取り組みを推進する。</p>
<p>【P70 ⑥ ノーカーデーの取り組み】 帯広市環境基本計画に基づき設立された帯広市環境保全推進会議により、平成16年7月から実施している、毎月第1金曜日の「ノーカーデー」の取組について、今後も、市役所を含む官民の団体の協力のもと、継続的に環境配慮行動の取り組みを進めていく。</p>	<p>【P69 ⑥ ノーカーデーの取り組み】 帯広市環境基本計画に基づき設立された帯広市環境保全推進会議により、平成16年7月から実施している、毎月第1金曜日の「ノーカーデー」の取組について、今後も、市役所を含む官民の団体の協力のもと、<u>地域住民の理解を深めるよう</u>継続的に環境配慮行動の取り組みを進めていく。</p>